



平成28年5月12日

各 位

上場会社名 南海プライウッド株式会社
 代表者 代表取締役社長 丸山 徹
 (コード番号 7887)
 問合せ先責任者 執行役員 管理部門長 松浦 義博
 (TEL 087-825-3615)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年11月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,900	50	100	70	7.23
今回修正予想(B)	16,142	△12	△342	△341	△35.27
増減額(B-A)	242	△62	△442	△411	
増減率(%)	1.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	15,292	△2	178	93	9.66

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,800	80	250	170	17.56
今回修正予想(B)	12,029	100	△206	△207	△21.49
増減額(B-A)	229	20	△456	△377	
増減率(%)	1.9	25.2	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	11,428	107	375	254	26.29

修正の理由

当期の通期連結業績予想は、売上高は国内市場では住宅着工戸数が堅調な推移になったこと、海外市場ではフランス子会社の販売活動が本格化したこと等により予想を上回りました。利益面ではフランス子会社において収益力の高い商品の販売活動が本格化していないこと、為替相場の急激な変動によるデリバティブ取引の評価損を計上したこと等により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

当期の通期個別業績予想は、国内市場の住宅着工戸数の堅調な推移により売上高、営業利益は前回予想を上回る見込みとなりましたが経常利益、当期純利益は為替相場の急激な変動によるデリバティブ取引の評価損を計上したこと、上海子会社株式の評価損を計上したこと等により、前回予想を下回る見込みとなりました。

※上記の業績予想の数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

以上